



令和5年

10月21日(土)・22日(日)
都筑民家園 10:00~16:00

重陽の節句(旧暦9月9日)は、五節句のひとつで別名菊節句と呼ばれています。「菊づくしのしつらえ」と、「後の雛」、「茱萸袋」などの展示をお楽しみください。

ちようよう
重陽の節句
せつく
く長寿と厄払いを祈るく

菊節句

展示
(無料)



菊の着綿(きせわた)の様子

●特別展示品

日本人形文化研究所 林直輝氏所蔵品

●薬玉飾り

●菊づくしの調度品

鎌倉彫の手あぶり、菊柄の漆器、古布を使ったちりめん細工

🌸 菊の着綿(きくのきせわた)

重陽の節句で行われる平安時代の宮中の習慣。九月九日の前夜から庭の菊に真綿をかぶせ、翌日露と香りが移った真綿で身体を拭くと不老長寿になれると言われていました。室町時代になると菊を浸した菊酒を飲むようになりました。



民家園の茱萸袋(ぐみぶくろ)

主催：NPO法人都筑民家園管理運営委員会

共催：横浜市都筑区

後援：都筑区ふるさとづくり委員会

協力：つるし雛の会